

## 平成29年度大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	東海大学	タイプ・国名	A・ロシア
事 業 名	ライフケア分野における日露ブリッジ人材育成—主に極東地域の経済発展を目的として—		
海外の相手大学	極東連邦大学、極東総合医科大学、サハリン国立総合大学、モスクワ国立大学、国立研究大学高等経済学院		

### 〔評価コメント〕

本事業計画は、長年にわたるロシアとの交流実績と日露間の学術交流を積極的に行ってきた経験に基づき、大学の国際戦略として明確な位置付けがされている。これまでの交流を整備し、極東地域を中心に、新たなプログラムを加え多層的なプログラムを構築しようとする意欲的な取組であるとともに、事業展開にあたっては、貴学の特性を活かし、ライフケア人材に焦点を当てた体制で実施する計画である。目標設定も高く、日露の架け橋となる人材育成が期待でき、高く評価できる。

また、学生の支援体制についても、極東オフィス開設など、派遣・受入の学生に対するフォロー体制の整備、日本人学生に対して英語のみならずロシア語の要件をも課している点は意欲的であると言え、インターンシップを日露の企業双方で展開しようとしている点も大変興味深い。成績管理、学習管理も十分に行われており、人的交流の拡大について期待ができる。更に、人材育成プロセスにおいて貴学所有の海洋調査実習船を用いた大規模な海外研修を組み込みながら構造的に構想され、ダブル・ディグリープログラムまで計画されている点も評価できる。

貴学単独での交流として閉塞感があるはあるものの、将来的には他大学との連携や、成果の普及についても検討することが期待される。

最後に、今回選定された貴学においては、将来の我が国と相手国との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。